

# 視聴覚教育

NO. 359

発行日

22. 1. 26

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

## 視聴覚用語 「ログイン」

コンピュータの利用開始時に、ユーザーの身元などを識別してアクセスに必要な資格情報を取  
得する操作のこと。コンピュータ  
セキュリティに関する手法や手  
段の一部に組み込まれている。  
ログオン、サインオンとも呼ばれ  
る。

## 視聴覚機器・自作教材の積極的な活用を

現職研修委員会学習情報部長 近藤 博之

広域派遣から二年ぶりに岡崎に復帰し、はじめて学習情報部の仲間に入れさせていただきました。学習情報に関する知識も経験も不十分ではありますが、これを機会にパソコンをはじめとした視聴覚機器の操作についての理解を深めるなど、研修に励んでまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

他市から眺めた岡崎の教育は、その着実な実践と確かな成果に目を見張るばかりでした。そうした岡崎の先生方が頑張っている姿を、広域派遣によって再認識することができたのはとても良い経験になりました。

その中でも、学習情報部の充実ぶりには感心させられました。政府や各市町村の施策により、今やほとんどの学校でパソコン教室や校内LANは整備され、多くのコンピュータが学校に配置されています。また、授業に活用するための自作視聴覚教材づくりも、多くの地域で教員の手によって行われています。このような状況にあっても、岡崎の視聴覚教育・情報教育は、先

輩方から現部員に至るまで、長年にわたる地道な研究・実践の積み重ねによって、他の地域より一歩も二歩も先んじています。昨年十月に視聴覚教育と放送教育の合同全国大会が岡崎市を中心に開催されたのも、日々の実践の確かさや生み出される自作教材の質の高さが、その背景にあると思っております。

二期期に入って、市内の全小中学校の全学級に50インチ大型テレビ、パソコン、DVDビデオデッキ、二学級に一台の教材提示機が順次設置されています。本校にも11月17日に配置されました。長引く不況で財政状況がとてつもない中でも、市当局の特別の配慮でこのような大規模のプロジェクトが実施されたことに、学習情報部の一員として感謝の気持ちでいっぱいです。

ここにも、これまでの学習情報部が成し遂げてきた数々の成果が生きているものと思えます。あとは教育現場で、それらの教育機器が子供たちのために活用されていかななくてはなりません。各学校の学習情報部が先頭に立って、積極的に授業に活かしていく取り組みを進めていくてくれることを大いに期待しています。

「全国こども科学映像祭」は子供たちの科学への関心を高め、カメラの目を通して子供の「科学する心」を育むことを目的として開催されています。今年度も岡崎市から多数の作品が応募され、優秀な成績を修めました。おめでとうございます。

## Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

### ● 第8回全国こども科学映像祭結果

「全国こども科学映像祭」は子供たちの科学への関心を高め、カメラの目を通して子供の「科学する心」を育むことを目的として開催されています。今年度も岡崎市から多数の作品が応募され、優秀な成績を修めました。おめでとうございます。



### 【優秀作品賞】

「ミミズの謎」 竜美丘小 科学部(6年)

「早寝 早起き お昼寝 カタバミ part3」 杉山 竜也(竜海中1年)

### 【佳作】

「松が泣いている」 石井 拓実(井田小6年)

「ドブ川に輝くアユ」早川に何が起きたのか」 福岡中 パソコン部

### ● 愛知情報モラル対応講座2

12月10日、西三河総合庁舎にて、「子どもを虜にするケータイネット」大人の皆さん! どう動きますか?」をテーマに情報モラル対応講座が開催された。愛知県警のサイバー犯罪対策室によるトラブルの実態の講演を皮切りに、実際に携帯電話を使っているプロフやネットいじめの疑似体験、ワークショップでの話し合いなどが行われた。参加者からは「実際にサイトに入ってみると、とても生々しく怖かった」「学校か家庭で情報モラルを教える必要性を実感した」などの感想が聞かれた。

## 実践報告Ⅱ

### 事例を通して学ぶNetモラル

北中学校 杉浦 諭

二年生の道徳の授業として、インターネット上で起こるトラブルについて学習した。実際にこの学年では、「なりすましメール」や「ブログでの中傷」の問題が起こっていたため、いい機会としてとらえ情報モラルの授業を行った。

今回はWeb教材「事例で学ぶNetモラル」の中の「ブログく私の日記なのに…」を使用した。ブログを自分の日記帳として使っている子が、親友から聞いた秘密までブログに書いたため、親友とケンカをしてしまう。また、個人情報を書き込んでしまったので、自分がストーカーにつきまとわれてしまう、という話である。

今は携帯電話でも個人のブログを持てるため、だれにでもこういう事件が起こり得ること、インターネットは自分や親しい人だけではなく、世界中の誰にでも見られる可能性があることを学ぶことができた。

実際、ネットに興味がある生徒や自分のブログを持っている生徒がいたため、この事例を身近に感じることができたようだった。ネット使用の低年齢化が進む中、こういった情報モラルを身につける必要性はさらに大きくなるだろう。



## レッツ・トライⅡ

### リニアPCM録音とミニ三脚

子供たちの器楽合奏や合唱を録音する場合がある。音質よく録音するならば、リニアPCM録音機が便利である。

リニアPCM録音とは、音楽CDと同じように圧縮していない高音質の録音形式である。録音機器は各社から多く発売されている。ボイスレコーダーの中にも、この形式で録音できるものがあるようだが、音楽録音をメインにした機器の方が音質は良い。

合唱を録音する時はオートで十分だが、合奏を録音する際は、録音レベルを確認しておいて、マニュアル録音の方が良い。機器によっては、録音レベルを調整する機能がついているので、その機能を利用すると簡単である。

録音には、三脚やマイクスタンドが必要になる。足が自由に曲がる卓上用のミニ三脚は、教室や音楽室でロッカーの上や教卓等に置いて録音できる。マジックテープがついていて、体育館ではギヤラリーの柵に固定できるものが便利である。また、ねじ径の違うマイクスタンドに取り付けられるものもある。

録音してすぐに子どもたちに聞かせて、良い点や悪い点を話し合ったり、CDに落として聞いたりすることもできる。



（緑丘小学校 学習情報主任 高橋 啓二）

## ライブライブラリーだより

今年度中に、岡崎市内の全小中学校に50インチの大型ディスプレイが設置されます。今後、よりよい視聴覚教材の開発や検索が重要になっていくことでしょう。岡崎市視聴覚ライブラリーから発行されている『視聴覚教材・機器利用の手引き』には、コンピュータ教材や視聴覚機器を利用した授業の実践例が掲載されています。

また、岡崎市視聴覚ライブラリーには、たくさんビデオ教材、効果音、機材があります。これらは、直接視聴覚ライブラリーのホームページから予約をすることができます。教材のみ「利用目的」の欄に「授業（メール便希望）」と打ち込むと交換メール便で配達されます。教材は『視聴覚教材・機器利用の手引き』に一覧が掲載されています。インターネットで検索することも可能です。ぜひ活用してください。

※インターネット予約には、各学校に配布されているIDとパスワードが必要です。

※貸出期間は貸出日を含んだ7日以内です。

### お詫びと訂正

12月号で紹介したアジア国際子ども映画祭で奨励賞を受賞したのは、生平小4年倉橋亜実さんと平山真帆さんでした。関係のみなさまにご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

